

# 技能実習生の受入れに関する実態アンケート 回答マニュアル



世界をつなぐ。未来をつくる。

**出入国在留管理庁**

Immigration Services Agency

## 育成就労制度の受入れ対象分野

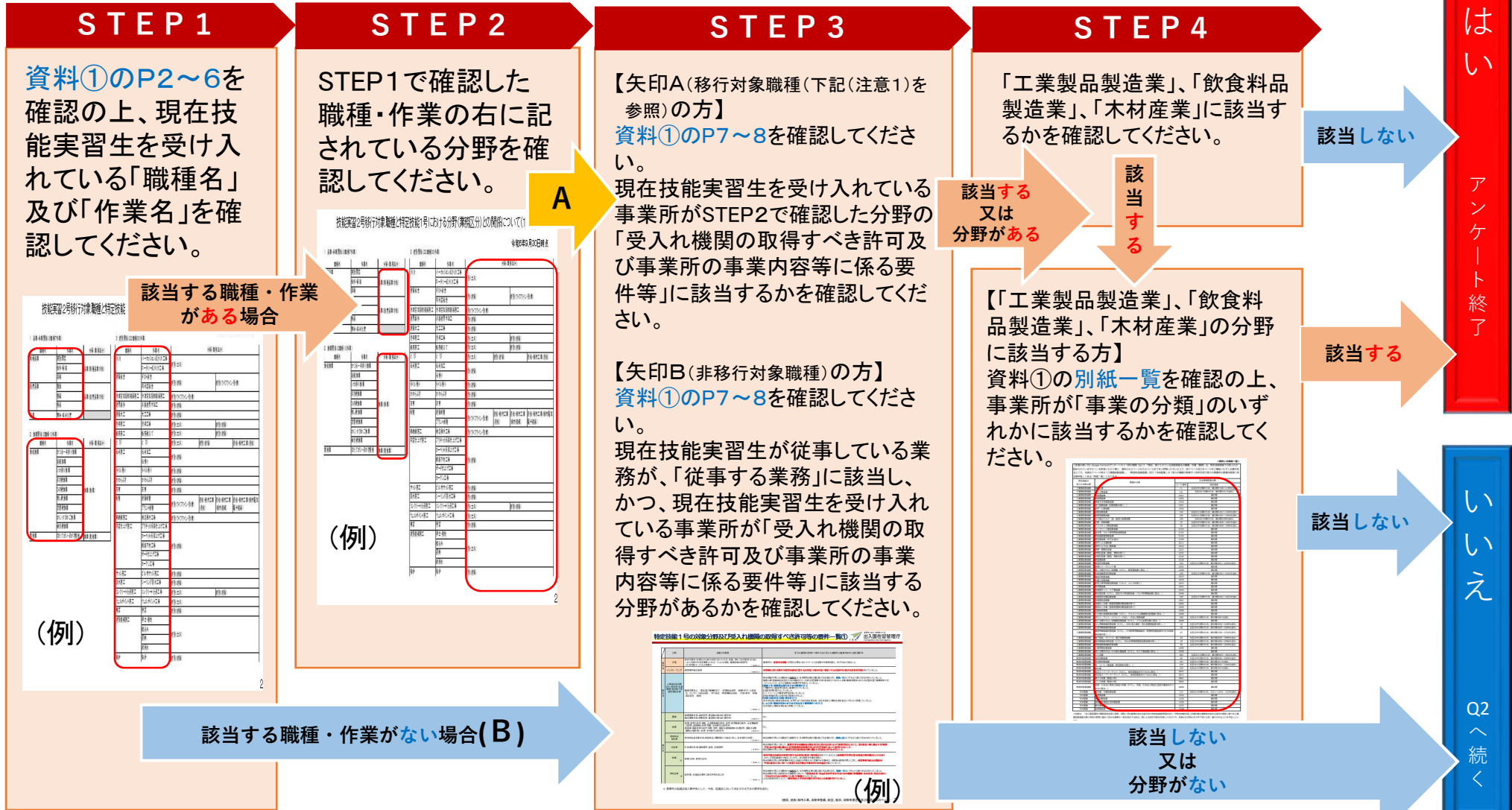
- ◎ 技能実習制度に替わる新たな制度である**育成就労制度の受入れ対象分野**(育成就労産業分野)は、**特定技能制度における受入れ対象分野**(特定産業分野)のうち、我が国において就労を通じて技能を修得させることが相当な分野から選定します。
- ◎ そのため、育成就労制度では、**現在、技能実習生を受け入れている職種・作業(業務)に対応する特定産業分野がない場合には、外国人を引き続き受け入れることができなくなります。**

## アンケートの目的

- ◎ 「技能実習生の受入れに関する実態アンケート」は、以下の①及び②の両方に該当する実習実施者から回答を集め、受入れ実態を把握するために行うものです。
  - ① **特定技能制度において行わせることができない職種・作業(業務)で技能実習生を受け入れている実習実施者**
  - ② **育成就労制度においても引き続き①の業務において外国人の受入れを希望している実習実施者**

※本アンケートで受入れを希望する旨を回答したとしても、育成就労制度において、必ず外国人を受け入れることができるわけではありません。

【Q1】現在、受け入れている技能実習生の職種・作業(業務)は、特定技能制度での受入れが認められていますか？



(注意1) 現在、「家具製作」、「リネンサプライ」、「ゴム製品製造」、「アルミニウム圧延・押出製品製造」、「ボイラーメンテナンス」の職種において技能実習生を受け入れている場合には、上記の手順に該当しないため、「いいえ(特定技能制度においては受け入れることができない)」を選択してください。

(注意2) 複数の事業所、職種・作業(業務)で技能実習生を受け入れている場合には、複数の事業所、職種・作業(業務)の数に応じて、複数回アンケートに回答してください。

【Q2】現在、技能実習生を受け入れている職種・作業（業務）において、技能実習制度での受入れが終了し、新制度が開始された後も、引き続き、新制度での外国人の受入れを希望しますか？

- 【Q2】で確認いただく資料はありません。
- 「はい（受入れを希望する）」を選択すると、【Q3】に進みます。
- 「いいえ（受入れを希望しない）」を選択すると、アンケートは終了になります。

【Q3】技能実習生が就労する「事業所」の業態について、下記の資料②「日本標準産業分類」のコード番号で回答してください。

- 資料②を確認してください。
- 大分類を英字の大文字1字（全角）、細分類は数字4桁（全角）で回答してください。

大・中・小・細分類項目表

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 大分類 A 農業、林業                 | 大分類 |
| 中分類01 農業                    | 中分類 |
| 小・細分類番号                     | 小分類 |
| 010 管理、補助的経済活動を行う事業所(01 農業) |     |
| 0100 主として管理事務を行う本社等         |     |
| 0109 その他の管理、補助的経済活動を行う事業所   |     |
| 011 耕種農業                    | 小分類 |
| 0111 米作農業                   |     |
| 0112 米作以外の穀作農業              |     |
| 0113 野菜作農業(さこの類の栽培を含む)      |     |
| 0114 果樹作農業                  | 細分類 |
| 0115 花き作農業                  |     |
| 0116 工藝農作物農業                |     |

資料②の抜粋

(例) 果樹作農業の場合  
大分類は「A」、細分類は「0114」のため、  
回答は「A0114」となります。



【Q7】実習実施者の名称を記載してください。

【Q8】実習実施者届出受理番号を記載してください。

○【Q7】及び【Q8】で確認いただく資料はありません。

○【Q7】については、実習実施者の名称を記載してください。

○【Q8】を回答するに当たり、団体監理型の技能実習を行っている実習実施者の方で、監理団体に届出を依頼した等の理由により、実習実施者届出番号が不明な場合には、監理団体にご確認ください。

【Q9】実習実施者の主たる業態について、下記の資料②の「日本標準産業分類」のコード番号で回答してください。

○資料②を確認してください。

○大分類を英字の大文字1字(全角)、細分類は数字4桁(全角)で回答してください。

| 大・中・小・細分類項目表                 |     |
|------------------------------|-----|
| 大分類 A 農業、林業                  | 大分類 |
| 中分類 01 農業                    | 中分類 |
| 小・細分類番号                      |     |
| 010 管理、補助的経済活動を行う事業所 (01 農業) |     |
| 0100 主として管理事務を行う本社等          |     |
| 0109 その他の管理、補助的経済活動を行う事業所    |     |
| 011 耕種農業                     | 小分類 |
| 0111 米作農業                    |     |
| 0112 米作以外の穀作農業               |     |
| 0113 野菜作農業(きのこ類の栽培を含む)       |     |
| 0114 果樹作農業                   | 細分類 |
| 0115 花き作農業                   |     |
| 0116 工業農作物農業                 |     |

資料②の抜粋

(例) 果樹作農業の場合

大分類は「A」、細分類は「0114」のため、  
回答は「A0114」となります。



# アンケートの回答の手順—【Q10】～【Q13】について

※【Q10】から【Q13】までの質問への回答に当たり、確認いただく資料はありません。

**【Q10】事業所において受け入れている技能実習生の人数を回答してください。**

○1つの事業所において受け入れている技能実習生の人数を算用数字(全角)で回答してください。

**【Q11】実習実施者が所属する業界団体を回答してください。**

○業界団体については、「●●法人●●組合」、「●●協会」、「●●連盟」などと記載してください。

**【Q12】実施している技能実習の区分を選択してください。**

**【Q13】【Q12】で「企業単独型技能実習」を選択された方にお尋ねします。現在どのような事業所から技能実習生の受入れを行っているか選択してください。**

○【Q12】では、実施している技能実習の区分について、「団体監理型技能実習」と「企業単独型技能実習」のうちから選択してください。

○【Q13】は【Q12】で「企業単独型技能実習」を選択された方のみ回答してください。